

第1回 スマート・エコパークに関する検討会 議事要旨

日時：平成26年11月12日（水）14：00～15：30

場所：経済産業省別館3階312共用会議室

出席者：中村委員（座長）、大木委員、白井委員、古田委員代理（鈴木委員代理出席）、山田委員代理（長谷川委員代理出席）、松本委員、山本委員、星野委員、深瀬委員、戸高委員、豊島委員

議題：1. 各委員の紹介
2. 検討会及び配付資料等の公開について（案）
3. 福島・国際研究産業都市（イノベーション・コースト）構想について
4. 検討会の開催趣旨について
5. これからのリサイクル事業における検討テーマ（案）
6. 宮城県・岩手県の震災廃棄物の処理の概況
7. 福島県における廃棄物処理の現状と今後の方針

議事概要：

- （1）検討会及び配付資料等の公開について
資料に基づき事務局より検討会及び配付資料等の公開について説明があり、委員の了承が得られた。
- （2）検討会の開催趣旨について
資料に基づき事務局よりスマート・エコパークに関する検討会の趣旨、主な検討内容、進め方等について説明があり、委員の了承が得られた。
- （3）これからのリサイクル事業における検討テーマ（案）等について
資料に基づき事務局、委員より各テーマについて説明があった。
- （4）意見等
委員からいただいた主な意見は以下のとおり。
 - ・一般論で議論するよりは、本地域に有益なリサイクル事業は何かという観点から検討していくべき。
 - ・先進的リサイクル事業は、現状ではまだ事業採算性が想定できないものも多い。今後の復興で材料が提供できるもの、他県に比べ普及が見込まれるもの等に先行して取り組んでみるなどの発想が大事ではないか。
 - ・宮城県や岩手県とは状況が違う面があるが、両県の先行的な取組から得られた知見を踏まえつつ対策を検討してみるべきである。
 - ・リサイクルした資材のニーズを見据えることが重要。今後の復興で発生する廃棄物等の想定も必要。次のステップに進むためには、そうした状況を踏まえ考えざるをえない。